

ハマドクサ

Equisetum hyemale L. var. *schleicheri* Milde

トクサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

個体数が増加しているが生育地が1カ所のみである。(現況:R+)

形態

トクサの変種で全草がトクサに似る。茎は鞘部筒がトクサでは直径と同じ4~8mmに対してハマドクサでは10~15mmと直径よりも長い。

国内分布

北海道、本州。

県内分布

外浦区。

生態など

常緑性、通常分岐せず直立する、地下茎は短く這い、地上近くで多く分岐する。半地中植物ないし地表植物である。繁殖は地下茎と孢子による。孢子は6月頃熟し始め風で散布する。

生育環境

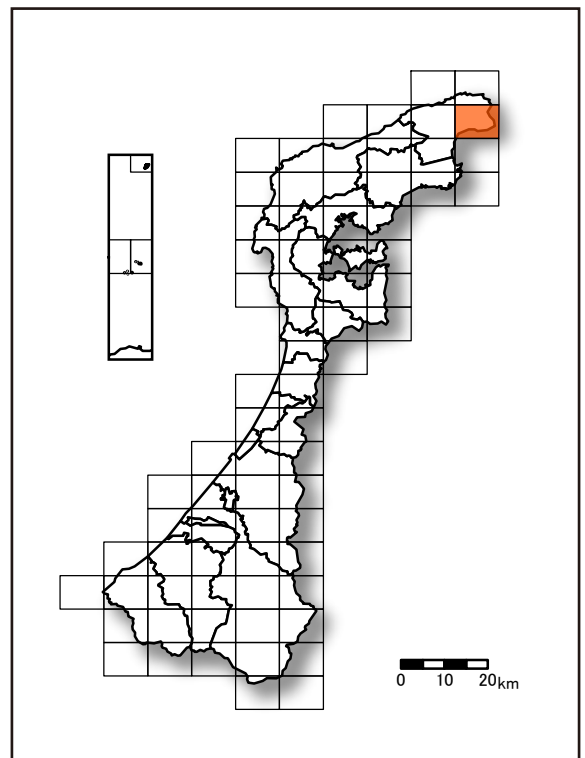
海岸の砂地に生育する。

危険要因

海岸開発。



白井伸和・2005年9月3日・珠洲市



県内の分布